

別紙2 要件適合表

大項目 No	小項目 NO	分類（大項目）	内容	区分	備 考
1	1	解答用紙の設定（事前設定）	採点や設定において、組単位などの制限がなくグループ単位（学年等）での処理ができること	基本	
1	2	解答用紙の設定（事前設定）	解答用紙は、特定のツールやシステム専用のテンプレートに縛られず、自由に作成できること	基本	
1	3	解答用紙の設定（事前設定）	解答用紙には、コピー用紙などの一般的な紙を使用できること	基本	
1	4	解答用紙の設定（事前設定）	解答用紙はA3サイズまで対応可能なこと	基本	
1	5	解答用紙の設定（事前設定）	解答用紙は、両面にも対応可能なこと	基本	
1	6	解答用紙の設定（事前設定）	解答用紙は、1 答案で複数枚の場合も対応可能なこと	任意	
1	7	解答用紙の設定（事前設定）	各問に対して、配点や観点、単元、分野等の設定ができること	基本	
1	8	解答用紙の設定（事前設定）	各問に対して、任意の問題番号が設定できること	基本	
1	9	解答用紙の設定（事前設定）	問題番号は「数字」だけでなく、「ひらがな」や「カタカナ」「アルファベット」も利用できること	基本	
1	10	解答用紙の設定（事前設定）	問題番号は自由編集が可能なこと	基本	
1	11	解答用紙の設定（事前設定）	問題番号を自動で設定できる補助機能を有すること	基本	
1	12	解答用紙の設定（事前設定）	解答欄は、選択肢、手書きの欄が設定ができること	基本	
1	13	解答用紙の設定（事前設定）	選択肢欄は、単一選択、複数選択の解答欄の設定と、正誤、配点の設定ができること	任意	
1	14	解答用紙の設定（事前設定）	解答欄を設定する際、システムが矩形を自動で認識し、設定作業を補助する機能を有すること	基本	
1	15	解答用紙の設定（事前設定）	解答欄を設定する際、自動認識した領域を調整する機能を有すること	基本	
1	16	解答用紙の設定（事前設定）	解答欄は、サイズを自由に設定できること	基本	
1	17	解答用紙の設定（事前設定）	小計欄（合計、観点別、単元別、大問別、小問別）の位置、サイズを自由に設定できること	任意	
1	18	解答用紙の設定（事前設定）	解答欄や配点の設定において、マウスドラッグで選択した範囲内を自動認識し、一括で設定できること	基本	
1	19	解答用紙の設定（事前設定）	各問に対して、配点や観点、単元、分野等の追加登録・設定が可能であること	任意	
1	20	解答用紙の設定（事前設定）	配点などの事前設定は、Excelデータを取り込むことで一括登録できること	任意	
1	21	解答用紙の設定（事前設定）	配点などの事前設定情報を、他の利用者に共有するかどうかを自由に選択できること	任意	
1	22	解答用紙の設定（事前設定）	解答欄の範囲が、設定された内容ごとに色分けされること	任意	
1	23	解答用紙の設定（事前設定）	解答欄に設定した値によって、設定内容を色で判別できるなど、視覚的に見やすい工夫がされていること	基本	
1	24	解答用紙の設定（事前設定）	設定した得点を各観点・大問ごとに確認できる機能を有すること	基本	
1	25	解答用紙の設定（事前設定）	作成した試験設定情報を複製して利用できること	基本	
1	26	解答用紙の設定（事前設定）	登録した解答用紙データを複製して、別のテストに流用ができること	基本	
1	27	解答用紙の設定（事前設定）	設定操作の戻し（Undo）や、やり直し（Redo）機能を有していること	基本	
1	28	解答用紙の設定（事前設定）	マークシートの問題番号は自動で設定できる補助機能を有すること	基本	
1	29	解答用紙の設定（事前設定）	マークの並びは縦でも横でも可能なこと	基本	
1	30	解答用紙の設定（事前設定）	マークシートのマークの形状は楕円に対応していること	基本	
1	31	解答用紙の設定（事前設定）	マークシートは記述式解答欄と混在して使用可能であること	基本	
1	32	解答用紙の設定（事前設定）	マークシートは専用紙が不要であり、範囲選択により一括でマーク枠設定が可能なこと	基本	
1	33	解答用紙の設定（事前設定）	登録した解答用紙は、学年関係無く利用可能であること	基本	
1	34	解答用紙の設定（事前設定）	模範解答画像上で直接設問を選択可能であり、かつ、解答欄位置・問題番号・配点・観点を一括設定できること	基本	
1	35	解答用紙の設定（事前設定）	模範解答の解答欄を自動で認識・作成が可能なこと	基本	
1	36	解答用紙の設定（事前設定）	模範解答は、解答欄の設定後でも登録可能なこと	基本	
1	37	解答用紙の設定（事前設定）	自動採点の正答を設定する際、システムが模範解答を自動で認識し、設定作業を補助する機能を有すること	基本	
2	1	答案用紙（スキャンデータの取込）	生徒名簿と答案用紙の紐づけ方法は、答案用紙名簿順に並べた読み取り順により名寄せ作業が可能なこと	基本	
2	2	答案用紙（スキャンデータの取込）	生徒名簿と答案用紙の紐づけ方法は、出席番号欄に生徒が記載した「年」「組」「出席番号」によって自動認識による名寄せが可能なこと	基本	

別紙2 要件適合表

大項目 No	小項目 NO	分類（大項目）	内容	区分	備 考
2	3	答案用紙（スキャンデータの取込）	答案用紙を割り当てた生徒を画面上で確認し、割り当てを変更できること	基本	
2	4	答案用紙（スキャンデータの取込）	氏名欄が縦書きの場合も見やすく名寄せできる工夫がなされていること	基本	
2	5	答案用紙（スキャンデータの取込）	欠席した生徒には答案を取り込まない設定が簡単にできること	基本	
2	6	答案用紙（スキャンデータの取込）	欠席した生徒がいた場合、欠席生徒分のみを再取り込みできること	基本	
2	7	答案用紙（スキャンデータの取込）	答案用紙データは、スキャナでデジタル化したPDFデータと画像からの取り込み機能を有していること	基本	
2	8	答案用紙（スキャンデータの取込）	答案用紙データは、画像はjpg/jpeg/PDF形式・解像度200dpi・グレースケール形式に対応していること	基本	
2	9	答案用紙（スキャンデータの取込）	答案用紙データのシステムへの取り込みは、フォルダ指定とファイルのドラッグ＆ドロップ、両方の機能を有していること	基本	
2	10	答案用紙（スキャンデータの取込）	紙の答案用紙のデータ取り込みの場合、1クラス分まとめてデジタル化された1つのPDFデータを処理できること	基本	
2	11	答案用紙（スキャンデータの取込）	1つのテストに対し、100名分以上の解答用紙を取り込めること	基本	
2	12	答案用紙（スキャンデータの取込）	1つのテストに対し、300名分以上の解答用紙を取り込めること	任意	
2	13	答案用紙（スキャンデータの取込）	取り込む答案用紙ファイルサイズは、1ファイルあたり100MB以上のファイルも取り込めること	任意	
2	14	答案用紙（スキャンデータの取込）	複数枚および両面答案用紙の取り込みができること	基本	
2	15	答案用紙（スキャンデータの取込）	傾きやズレ、天地逆転となった答案用紙データを自動補正する機能を有すること	基本	
2	16	答案用紙（スキャンデータの取込）	自動ズレ補正機能は、解答用紙に位置情報を示す記号が無くても利用できること	基本	
2	17	答案用紙（スキャンデータの取込）	取り込んだ答案用紙を自動で濃度補正する機能を有していること	任意	
2	18	答案用紙（スキャンデータの取込）	取り込んだ答案用紙の濃度補正を手作業でも可能なこと	任意	
3	1	採点機能（自動採点）	採点基準を入力することによる自動採点機能を有していること	任意	
3	2	採点機能（自動採点）	選択した解答を一括で採点できる機能を有すること	基本	
3	3	採点機能（自動採点）	択一式および複数選択式問題の正誤に関して、自動で行うことができ、効率的に行える工夫があること	基本	
3	4	採点機能（自動採点）	複数選択式問題の解答の場合、完全一致・順不同の解答を自動で正しく採点できること	基本	
3	5	採点機能（自動採点）	文字や数字の一字で解答する問題については、一文字認識による自動集計が可能であること	任意	
3	6	採点機能（自動採点）	文字や数字の一字で解答する問題では、ひらがな・カタカナ・アルファベット大文字・アルファベット小文字・数字の自動採点に対応していること	任意	
3	7	採点機能（自動採点）	和文、英単語、数式（分数やルート、文字式など）、マークシートについても、自動で採点できる機能を有すること	任意	
3	8	採点機能（自動採点）	和文の自動採点は、ひらがなやカタカナや漢字にも対応し、縦書きでも対応できること	任意	
3	9	採点機能（自動採点）	数式の自動採点は、中学校の数式に対応できること	任意	
3	10	採点機能（自動採点）	英文の自動採点を行うことができること	任意	
3	11	採点機能（自動採点）	自動採点は答案用紙データアップロード時に一括で処理されること	任意	
3	12	採点機能（自動採点）	答案用紙アップロード後に特定設問の正答設定を修正したい場合、再アップロードなしで再採点できること	基本	
3	13	採点機能（自動採点）	文字や解答欄内に丸・括弧・問題番号・単位が付いていても正しく自動採点されること	基本	
3	14	採点機能（自動採点）	一定時間毎に採点結果の自動保存が可能なこと。また、利用者ごとに自動保存のON/OFFを選択可能なこと	任意	
3	15	採点機能（自動採点）	採点中のデータを失わない様に、一定のタイミングで自動保存する機能を有していること	任意	
3	16	採点機能（自動採点）	誤答と空欄（無答）を区別して採点できること	基本	
3	17	採点機能（自動採点）	空欄（無答）の解答は自動で×がつくこと	基本	
3	18	採点機能（自動採点）	完答問題であっても自動採点ができること	基本	
4	1	採点機能（表示・操作性）	欠席者を後から1人だけ採点する場合に、答案1枚だけ採点できる機能を有すること	任意	
4	2	採点機能（表示・操作性）	マウスクリックすることで採点できること	基本	
4	3	採点機能（表示・操作性）	キーボードでも採点できること。また、キーは利用者が自由に設定できること	任意	
4	4	採点機能（表示・操作性）	生徒ごとの答案を1枚ずつ、および、同一設問の解答を画面切り替えをすることなく300枚以上並べて表示し採点できること	基本	
4	5	採点機能（表示・操作性）	クラス全員の同じ設問の解答を一覧で並べて採点できること	基本	

別紙2 要件適合表

大項目 No	小項目 NO	分類（大項目）	内容	区分	備 考
4	6	採点機能（表示・操作性）	答案用紙の並び順は、出席番号順や採点結果順などでソートできること	基本	
4	7	採点機能（表示・操作性）	記述式問題の採点に関し、問題単位に一覧で表示しながら採点できること	基本	
4	8	採点機能（表示・操作性）	解答欄からはみ出した解答がある場合、答案用紙の欄外記載を容易に確認できること（マウスまたはキーボード操作1回）	基本	
4	9	採点機能（表示・操作性）	解答の並び順を、出席番号順・採点結果順・OCR自動認識順・フラグ順から選択できること	任意	
4	10	採点機能（表示・操作性）	模範解答は、スクロールなどの操作に影響されず常に表示され、参照しながら採点可能なこと	基本	
4	11	採点機能（表示・操作性）	設問一覧もしくは模範解答画像上のアイコンから該当設問の採点画面に直接遷移できること	基本	
4	12	採点機能（表示・操作性）	操作によるデータの削除については、警告（確認）を表示すること	基本	
4	13	採点機能（表示・操作性）	国語の文章題など、解答欄が縦長になる場合、横スクロールで見やすく採点できる工夫があること	任意	
4	14	採点機能（表示・操作性）	メインメニュー画面では、ログイン中のユーザーが表示されていること	基本	
4	15	採点機能（表示・操作性）	複数のクラスをページ分割せずに一括で採点できること	基本	
4	16	採点機能（表示・操作性）	任意の生徒をグループ化して一斉に採点できること	基本	
4	17	採点機能（表示・操作性）	複式学級等を想定し、学年を跨いだ一斉採点ができること	基本	
4	18	採点機能（表示・操作性）	採点した解答にはロックをかけ、他の教員が誤って上書きできないようにする機能を有すること	任意	
4	19	採点機能（表示・操作性）	採点操作の戻し（Undo）や、やり直し（Redo）機能を有していること	基本	
4	20	採点機能（表示・操作性）	採点記号のサイズ、位置の調整が設問ごとに行えること	基本	
4	21	採点機能（表示・操作性）	クラスや設問単位で担当する教員を割り当て、複数の教員で分散採点できること	任意	
4	22	採点機能（表示・操作性）	1人で採点を行う場合と、複数の教員で分担して採点を行う場合にに応じて専用のモードを有していること	基本	
4	23	採点機能（表示・操作性）	分散採点を行う場合、テスト作成者、採点者、結果閲覧者のそれぞれ機能を制限した権限を付与できること	任意	
4	24	採点機能（表示・操作性）	分散採点を行う場合、答案用紙の解答欄をランダムに表示する機能を有すること。また、マスキングする個所をソフトウェア上で自由に設定できること	任意	
5	1	採点機能（見直し・手修正）	記述式問題の採点に関し、部分点配点を行えること	基本	
5	2	採点機能（見直し・手修正）	部分点については、任意の箇所に得点スタンプが複数配置できること。また、加点方式または減点方式のいずれかで、押下した得点情報が設問毎に自動集計されること	基本	
5	3	採点機能（見直し・手修正）	部分点については事前に点数を決めるのではなく、解答ごとに自由に配点可能なこと	基本	
5	4	採点機能（見直し・手修正）	採点中・採点後にも配点・観点の変更ができること	基本	
5	5	採点機能（見直し・手修正）	設定内容は採点中・結果出力後でも採点結果を保持した状態で変更可能なこと	基本	
5	6	採点機能（見直し・手修正）	解答へのコメント・線を引くなど添削機能を有していること	基本	
5	7	採点機能（見直し・手修正）	添削コメントの内容はテキスト編集でき、縦書き横書きの選択が可能であること	基本	
5	8	採点機能（見直し・手修正）	添削コメントは定型登録可能で再利用が可能なこと	基本	
5	9	採点機能（見直し・手修正）	添削コメントは入力履歴から選んで貼付けられること	任意	
5	10	採点機能（見直し・手修正）	作成した添削コメントを各解答に連続入力できること	基本	
5	11	採点機能（見直し・手修正）	様々な添削スタンプが利用可能なこと。また、自由線での添削も可能なこと	基本	
5	12	採点機能（見直し・手修正）	未採点の解答に対して、一括で採点（○×等を設定）できること	基本	
5	13	採点機能（見直し・手修正）	△の部分点をつけた問題のみソートして、点数配分の見直しができる機能を有すること	基本	
5	14	採点機能（見直し・手修正）	加点、または減点スタンプによる採点が利用可能なこと	基本	
5	15	採点機能（見直し・手修正）	採点後に生徒と答案の紐づけ誤りに気付いた場合、生徒と答案の紐づけの変更ができること	任意	
6	1	返却用答案作成・出力	返却用答案はスキャンした答案用紙のデータに○や×、△の記号、添削内容が表示されること	基本	
6	2	返却用答案作成・出力	返却用答案はPDFファイルで出力できること	基本	
6	3	返却用答案作成・出力	返却用答案は、複数クラス一括、クラスごと、生徒個別にPDFファイルで出力できること	基本	

別紙2 要件適合表

大項目 No	小項目 NO	分類（大項目）	内容	区分	備 考
6	4	返却用答案作成・出力	採点記号の形や色を選択できる機能を有すること	任意	
6	5	返却用答案作成・出力	返却用答案に観点得点や合計点（全体、大問ごと）を出力できること	基本	
6	6	返却用答案作成・出力	返却用答案には、大問別合計点や観点別合計点以外にも任意の範囲での小計を表示できること	基本	
6	7	返却用答案作成・出力	観点別合計点に関しては、ページ跨ぎなどを考慮し、別々に出力できること	基本	
6	8	返却用答案作成・出力	答案用紙が両面の場合、合計点は表裏それぞれのページに表示できること	任意	
7	1	ペーパーレス返却	採点後の答案用紙はGoogle Classroomを用いて返却が可能であること	基本	
7	2	ペーパーレス返却	Google Classroomを用いて返却用答案を返却するに当たって教員ごとの設定が不要であること	任意	
7	3	ペーパーレス返却	Google Classroomを用いての返却用答案の返却は、クラス一括および生徒個別で可能なこと	基本	
7	4	ペーパーレス返却	Google Classroomを用いて返却用答案を返却する際には、誤返却を防止するための工夫がなされていること	基本	
7	5	ペーパーレス返却	蓄積されたデータを用いた成績グラフの確認や答案PDFの返却ができること	基本	
8	1	採点結果結果出力機能	採点結果の集計を自動で行えること	基本	
8	2	採点結果結果出力機能	採点結果の集計後も再度採点を行い、再集計が可能であること	基本	
8	3	採点結果結果出力機能	名簿の登録や紐づけなしに採点および集計、採点結果出力が可能なこと	基本	
8	4	採点結果結果出力機能	クラス単位での集計の他、任意に設定したグループ単位でも集計ができること	任意	
8	5	採点結果結果出力機能	テスト等の結果は生徒ごとに集計でき、PDFファイルで出力できること	基本	
8	6	採点結果結果出力機能	テスト等の結果は生徒ごとに集計でき、CSVファイルに出力して二次利用ができること	基本	
8	7	採点結果結果出力機能	点数は合計点数だけでなく、観点や単元別、大問別にも集計・出力が可能であること	基本	
8	8	採点結果結果出力機能	合計、観点別、単元別、大問別、小問別の集計結果をCSVまたはExcelファイル出力できること	基本	
8	9	採点結果結果出力機能	合計、観点別、単元別、大問別、小問別の集計結果のCSVまたはExcelファイルは、複数クラス一括およびクラスごとに出力できること	基本	
8	10	採点結果結果出力機能	設問毎に採点結果の正誤表（正解人数、不正解人数）を表示できること	基本	
8	11	採点結果結果出力機能	設問毎の解答率及び正答率の分析表をCSVまたはExcelファイル出力できること	任意	
8	12	採点結果結果出力機能	設問や観点ごとの正答率・平均点の出力が可能であること	任意	
8	13	採点結果結果出力機能	採点後の集計データの出力先を任意の場所に指定できること	基本	
8	14	採点結果結果出力機能	複数の教科の試験結果を任意に組み合わせた個人成績表が出力できること	基本	
8	15	採点結果結果出力機能	校務支援システム（C4th）への入力を考慮し、Excel等で出力する際は、任意にファイルレイアウトを指定できること	基本	
8	16	採点結果結果出力機能	個人情報を含むファイルを出力する際は、セキュリティに配慮し、暗号化して出力できる機能を有すること	任意	
8	17	採点結果結果出力機能	出力ファイルはクラス毎だけでなく、学年全体での出力もできること	基本	
8	18	採点結果結果出力機能	採点後、「○のみ」「×のみ」「●のみ」「添削した解答のみ」の抽出表示が可能なこと	任意	
9	1	分析機能	設問別の正誤分布や平均点などを、一覧で確認できること	任意	
9	2	分析機能	観点別・大問別の平均得点率を、クラス毎に確認できるグラフで表示できること	任意	
9	3	分析機能	教科の総合得点率の度数分布を表示する機能があること	基本	
9	4	分析機能	教科の総合得点率の度数分布を、クラス毎に表示する機能があること	基本	
9	5	分析機能	度数分布表の中には、得点順位をわかりやすくする工夫として、生徒の氏名を表示できること	任意	
9	6	分析機能	生徒個人の成績推移が確認できること	基本	
9	7	分析機能	分析結果を個票として出力できること	基本	
8	8	分析機能	個票は複数クラス一括およびクラスごとに出力できること	基本	
9	9	分析機能	個票には平均点や大問別、小問別の得点等が表示できること	基本	
9	10	分析機能	個票は複数の教科の試験結果を出力できること	基本	
9	11	分析機能	個票では、偏差値、順位の表示/非表示が制御できること	基本	

別紙2 要件適合表

大項目 No	小項目 NO	分類（大項目）	内容	区分	備 考
10	1	生徒・教員情報の登録	生徒・教員情報の追加・削除・編集が可能なこと	基本	
10	2	生徒・教員情報の登録	生徒・教員情報の追加・削除・編集において、CSVファイル等で一括登録が可能なこと	基本	
10	3	生徒・教員情報の登録	生徒・教員情報の追加・削除・編集において、複数のグループを一括で登録可能なこと	任意	
10	4	生徒・教員情報の登録	生徒・教員情報は、追加や部分的な変更があった場合でも、更新分のみCSVファイル等で一括更新が可能なこと	任意	
10	5	生徒・教員情報の登録	生徒名簿は管理者による全体名簿と、教員は個別で利用する個別名簿の2種類が登録できること	基本	
10	6	生徒・教員情報の登録	生徒に任意のグループを設定し、グループ別に答案の取り込み・採点を行えること	基本	
10	7	生徒・教員情報の登録	転校して不在になった生徒がいる場合は、名簿の設定で常に答案取込対象から外すなど、答案取込の作業を効率よく実行できる手段があること	任意	
10	8	生徒・教員情報の登録	権限によって、教員が見られるデータに制限がかけられること	基本	
10	9	生徒・教員情報の登録	氏名の情報は、外字に対応していること	任意	
10	10	生徒・教員情報の登録	生徒の氏名情報は、漢字氏名のみ、カタカナ氏名をみの登録が可能なこと	基本	
10	11	生徒・教員情報の登録	採点データが紐づいている生徒に関して採点データを削除しなくても生徒の削除可能であること	任意	
10	12	生徒・教員情報の登録	特定の権限がある教員は、他の職員のパスワードを初期化できること	基本	
10	13	生徒・教員情報の登録	任意のタイミングで生徒情報を次年度のものに更新できること	基本	
11	1	動作環境	Windows11、ChromeOSに対応していること。 また、本ソフトウェア調達時に販売されているWindowsの最新バージョンに対応していること	基本	
11	2	動作環境	ブラウザはMicrosoft EdgeまたはGoogle Chromeに対応していること	基本	
11	3	動作環境	Googleアカウントでシングルサインオンできること	基本	
11	4	動作環境	一連の操作が1つのシステムで完結できること	基本	
11	5	動作環境	日本語表記のシステムであること	基本	
11	6	動作環境	出力ファイルは全てCSVファイルやエクセルファイル等、汎用性のあるファイルで出力できること	基本	
12	1	セキュリティ対策	指定IP以外のアクセス制御できる設定機能を有していること	基本	
12	2	セキュリティ対策	テレワーク時等のアクセス制限下において、生徒個人情報を表示しない状態での採点を許可する設定・機能制限も可能なこと	基本	
12	3	セキュリティ対策	サービスにて行われる通信を暗号化していること	基本	
12	4	セキュリティ対策	データベースが暗号化されていること	基本	
12	5	セキュリティ対策	サーバーのアクセスログを保存し、不正アクセスが発生した場合には、速やかに区に報告するとともに情報開示を行うこと	基本	
12	6	セキュリティ対策	1日に1回以上は登録データのバックアップが取られ、1週間以上保管されていること	基本	
12	7	セキュリティ対策	データベースサーバーの破損等の際に、データが復旧できること	基本	
12	8	セキュリティ対策	災害発生時の業務継続性について対策が取られていること（例：災害時におけるサポート計画、定期的な訓練など）	基本	
12	9	セキュリティ対策	サービスの死活監視が行われていること	基本	
12	10	セキュリティ対策	障害発生時の連絡体制および対応フロー等をあらかじめ定めていること	基本	
13	1	ライセンス	学校単位のライセンスであること	基本	
14	1	利用実績	公立中学校において利用実績のあるシステムであること	基本	
15	1	サポート・マニュアル	日本語に対応したサポート窓口を設けており、学校現場からの電話およびメールによる問合せに対応していること	基本	